

## 第31週(8月1日～8月7日)の集計結果

### コメント

#### 【今週の傾向】

ヘルパンギーナは、定点あたり8.4人と、先週(定点あたり9.6人)に比べ、減少していますが、依然高い水準です。

症状が落ち着いても、便からウイルスが長期に排出されます。手洗いをしっかり行いましょう。

○感染性胃腸炎は、定点あたり6.9人で、先週(定点あたり7.7人)と比べ、ほぼ横ばいです。

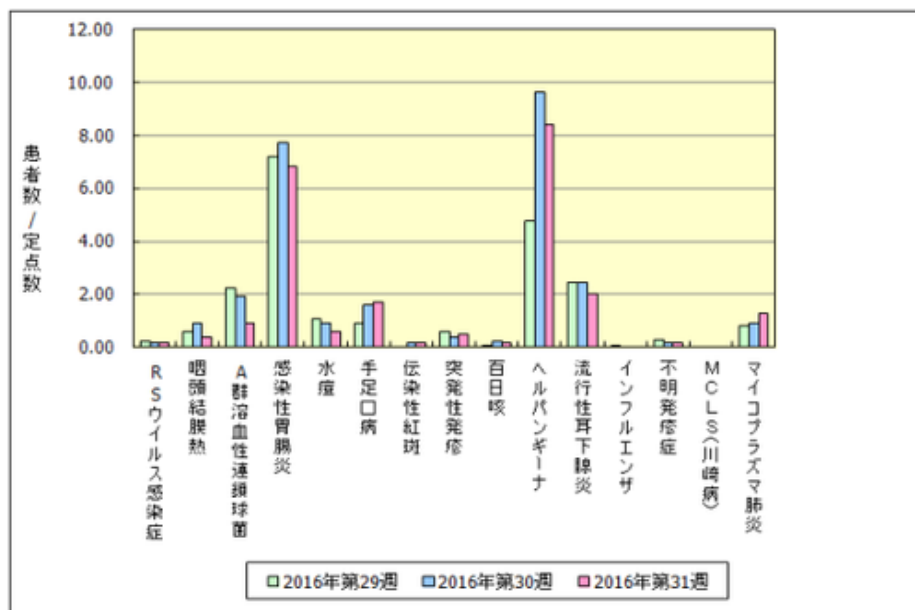
○流行性耳下腺炎は、定点あたり2.0人で、先週(定点あたり2.4人)と比べ、ほぼ横ばいです。

今年、昨年より報告数が高い傾向がみられます。

○マイコプラズマ肺炎は、定点あたり1.3です。

2016年は、2014年・2015年に比べ、報告数が多い状況です。

○感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。



第31週疾患毎発生状況グラフ

第31週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	MCLS(川崎病)	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
～11ヶ月	1	2	0	10	0	3	0	1	0	11	0	0	1	0	0
1歳	1	0	0	18	0	6	0	4	0	37	1	0	0	0	1
2歳	0	0	0	9	0	8	0	2	0	23	3	0	1	0	1
3歳	0	1	2	7	0	4	0	0	0	19	2	0	0	0	1
4歳	0	0	3	10	1	3	1	0	0	11	3	0	0	0	2
5歳	0	2	2	8	4	0	0	0	0	7	3	0	0	0	0
6歳	0	0	2	4	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	3
7歳	0	0	1	3	1	0	0	0	0	2	7	0	0	0	3
8歳	0	0	1	6	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
9歳	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
10～14歳	0	0	1	11	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
10～12歳												0			
13～14歳												0			
15～19歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20歳以上	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	2	5	13	96	8	24	2	7	2	118	28	0	2	0	18

第31週年齢別発生状況表

	2016年 第26週	2016年 第27週	2016年 第28週	2016年 第29週	2016年 第30週	2016年 第31週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	0→	0→	1↑	3↑	2↓	2→	79
咽頭結膜熱	14↓	14→	18↑	8↓	13↑	5↓	307
A群溶血性連鎖球菌	54↑	45↓	47↑	31↓	27↓	13↓	1226
感染性胃腸炎	133↑	161↑	129↓	101↓	108↑	96↓	4252
水痘	7↑	15↑	3↓	15↑	13↓	8↓	200
手足口病	8↑	6↓	11↑	13↑	22↑	24↑	109
伝染性紅斑	3↑	5↑	1↓	0↓	2↑	2→	128
突発性発疹	9↓	8↓	10↑	8↓	5↓	7↑	229
百日咳	0↓	0→	1↑	1→	3↑	2↓	30
ヘルパンギーナ	18↑	54↑	93↑	67↓	135↑	118↓	501
流行性耳下腺炎	27↑	41↑	28↓	34↑	34→	28↓	602
インフルエンザ	0→	0→	0→	1↑	0↓	0→	6930
不明発疹症	2→	1↓	2↑	4↑	2↓	2→	62
MCLS(川崎病)	0→	0→	0→	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	9↓	9→	13↑	11↓	13↑	18↑	347

第31週疾患毎発生状況表